

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年11月13日 NO.65 (265)

モンタ博士「不思議だな。不思議だな。」

まったくもって不思議なのだ。」

オー君 「モンタ博士！どうしたのですか。」

花ちゃん 「さっきから、不思議だなの連発ですね。」

モンタ博士「本当に不思議なのだ。よーく観察したり、

じっくりと見てもわからない。

考えても考えてもまったくわからない。」



オー君 「何がどうしたのですか。」

花ちゃん 「何がそんなに不思議なのですか。わたしたちにも教えて下さい。」

モンタ博士「ほら！よーく見てごらんよ。この前、レンゲソウやナノハナの種をみんなにあげたでしょ。その種を今よーく見て、考えているのさ。モンタ博士が不思議に思うのはね、こんな小さな種のどこに、あんなにきれいな花を咲かせるものがあるのかなと考えているのさ。」

オー君 「そういえばそうですね。不思議ですね。」

花ちゃん 「そういえば、小さな種からたくさんの花を咲かせるのも不思議ですね。」

モンタ博士「下に種の写真と花の写真を並べてみたから、みんなで考えよう！」

花ちゃん 「そういえば、種ってどれもみんな小さいですね。」

オー君 「それから、種ってどれもみんな黒っぽいですね。」

モンタ博士「そうだろう。考えれば考えるほどわからないこと、不思議なことばかりだ。

いろいろと自分なりに考えてみるといいよ。それから、ただ1つ



レンゲソウ



ナノハナ

いえることは、こんなちい小さなたね種なかの中に、たくさんのはな花さを咲かせる
大きな大きな生命のもとがかく隠されているということだね。」

花ちゃん 「ほんとう本当にそうですね。これからいろいろとかんが考えていきたいと思います。とこ
ろで、下のした写真しゃしんは何なにをしているところですか。」



オー君 「あ！これはサクラソウのなえ苗うを植えているところですね。」

モンタ博士「そのとおりだね。このサクラソウのたね種はもっともっとちい小さいんだ。9月の始め
に種をまいて、これまで大きな苗にするのに2か月もかかったのさ。でも、種
のせいめいりょく生命力はすごいね、こんなにりっぱ立派な苗なえになるんだから。」

花ちゃん 「今年、ことし国立七小こくりつななしょうでは、ぜんこうじどう全校児童で苗なえを育てるんですね。」

モンタ博士「そうだよ。今からいま水みずやりやれば、2月から3月ころ、そつぎょうしき卒業式のころには
がっこうじゅう学校中がきれいなピンクのサクラソウの花ではないっぱいになるよ。」

オー君 「花はないっぱいがっこうの学校っていいですね。」

花ちゃん 「みんなたので楽しみにしていきましょう。」

モンタ博士「そこで、モンタ博士は、またかえ歌うたを作つくったんだ。こんなのどうかな。

♪ありがとう ありがとう ありがとう 花はなのたねをありがとう♪

♪の歌うたをかえ歌うたにして

♪うえましょう うえましょう うえましょう

♪サクラソウのなえ苗をうえましょう♪

♪とか、どうかな？」

